

2月給食だより

ねん ちゅう ぎょう じ
**年中行事に
か 欠かせない**

だい す あすき
大豆と小豆のおはなし

2月といえば、豆をまいて鬼を追い払う節分の行事があります。節分は季節を分ける日という意味で、立春・立夏・立秋・立冬前日のことを指します。年に4回ありますが、昔の人は立春を1年の始まりと考えていたため、その前日の節分が特別な行事として現代に伝わっています。



せつ ぶん まめ
なぜ、節分に豆をまくの?



季節の変わり目は体調を崩しやすくなる人も多いと思いますが、昔の人は、これを「鬼(邪気)」の仕業と考えていました。災いや疫病をもたらす鬼を追い払い、幸福を招くための風習が「鬼は外、福は内」の掛け声で行われる豆まきです。豆が使われるのは、「摩滅(鬼をほろぼす)」につながるという説や、いった大豆が「豆をいる=魔目(鬼の目)を射る」につながるなどの説があります。豆まきのあとは、自分の年齢の数、または年齢+1個の豆を食べて健康を願う風習もあります。豆まきには大豆のほか、落花生を使う地域もあります。

だい す まめ ち しき
大豆の“豆”知識



大豆は、体をつくるタンパク質を多く含むことから「畑の肉」と呼ばれています。煮豆などの料理に使われるほか、さまざまな食品に加工され、日本人の食卓に欠かせない食べものです。

だい す
大豆からできるもの



あすき まめ ち しき
小豆の“豆”知識



和菓子などに使われる小豆も、大豆同様に古くから重要な食べ物でした。昔の人は、小豆の赤い色が「太陽=生命力」を象徴すると考え、魔除けの意味を込めて行事やお祝いのお祝い取り入れてきました。

ねん ちゅう ぎょう じ あすき りょう り
年中行事 と 小豆料理

かがみびら 鏡開き お汁粉・ぜんざい	こしょうがつ 小正月 あすきがゆ	ひがし お彼岸 おはぎ・ぼたもち	しちごさん 七五三 赤飯	ことようか 事八日 おこと汁	とうじ 冬至 いとこ煮
-------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	------------------------------

冬の食べものことわざクイズ

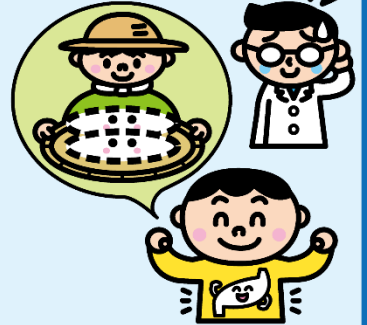


○に冬の食べものを書いて、ことわざを完成させよう！
 下の絵と○の数、[]がヒントです。

Q1

○ ○ ○ ○ ときの医者いらず

[○ ○ ○ ○ は、おなかの調子をととのえ、消化をよくする野菜なので、収穫できるとみんなが健康になり、医者がいなくなるという意味。]



Q2

○ ○ は ○ ○ 屋

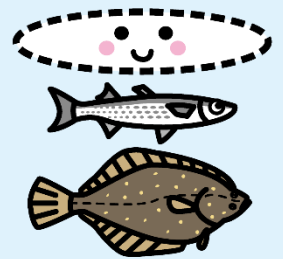
[○ ○ はだれでもつくことができるが、○ ○ 屋がつくものが一番うまいという意味で、それぞれの専門家に任せるのが一番だということ。]



Q3

寒 ○ ○ 寒ぼら寒かれい

[さむい時期においしくなる魚を、3つ並べてリズム良く並べたことわざ。]



Q4

煎り ○ ○ に花が咲く

[節分に使う ○ ○ は煎っている(火を通す)のに花が咲いたという意味で、ありえないことが実現する、また衰えていたものが再び勢いを盛り返すことのとえ。]



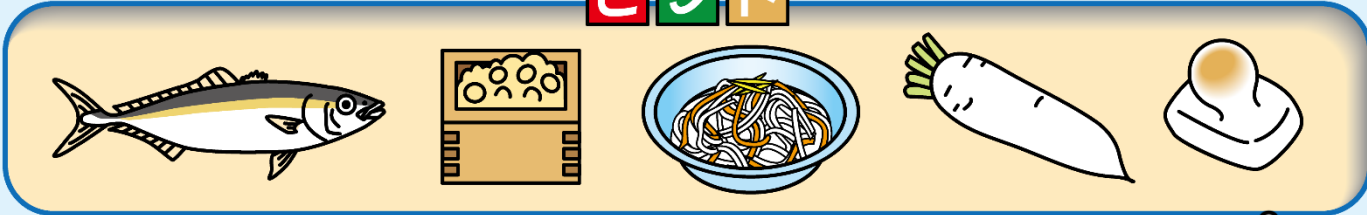
Q5

羹に懲りて ○ ○ ○ を吹く

[羹(熱い汁物)でやけどしたので、冷たい ○ ○ ○ を食べる時もフーフー冷ましてしまうという意味で、前の失敗に懲りて、必要以上に余計な心配をすることのとえ。]



ヒント



こたえ Q1=だいこん(大根) Q2=もち(餅) Q3=ぶり(鰯) Q4=まめ(豆)
 Q5=なます(膾)…酢の物のこと

